



繫

西川小学校だより

第11号
R5.12.1
西川小学校
校長 白田慶和

岩根沢の魅力をとどけるために！



これまで6年生は、ふるさと楽行で何度も岩根沢を訪れました。そこで発見した魅力を発信し、地域を活性化するためにPR看板の作成に取り組みました。区長さんはじめ地区の方々、製作にご協力いただいた「山ちから研究会」の方からも参加いただき、11月21日（火）に設置しました。「6年生の皆さんが地区のことを考えてくれたことがうれしい。」



「明るい看板でいつまでも大切にしたい。」「この地を訪れた時に、自分たちで作ったんだ、と語れるといいね。」など、温かい言葉をたくさんいただきました。地域に貢献できる力を自分たちが持っていることをあらためて認識することができました。

一人一枚のパーツを作り、それを組み合わせ合わせて看板を作成しました。

4年ぶりの全校給食～みんなそろっていただきます～



これまで2学年ごとの交流給食は実施してきましたが、11月20日（月）から全校生での交流給食が始まりました。

コロナ禍で約4年ぶりの実施となり、1～4年生は初めての経験です。準備は高学年のお手本を見ながら、協力して手際よくできました。

みんなと向かい合いながら顔を合わせての給食はとても楽しそうでした。

給食が多い時には、高学年のお兄さんお姉さんに自分で伝えて減らしてもらったり、食べ終わった後は楽しくお話したりして、縦割り班の活動の中で関わる力を磨いています。

なかよし集会～楽しい時間をみんなで～

なかよし委員会主催の「なかよし集会」が11月28日（火）の2校時目に行われました。縦割り班でゲームやクイズに挑戦し、他学年の児童とふれあい、楽しい時間を共有することで、仲間の輪を広げたり、リーダーシップを育てたりすることがねらいです。

3択クイズで盛り上がり、ジェスチャーゲームで友達の動きに笑い合い、なかよし委員会のリードのもと、高学年が班をまとめました。閉会式では、「コロナ禍でできなかった集会をすることができて本当にうれしかった。クイズやゲームでみんななかよくなれてよかった。」との感想がありました。

これから冬の季節になりますが、感染症などにも十分注意しながら、学校でしかできないことをたくさん行い、友達と力を合わせ共に伸びていく西川っ子を育てていきたいと思えます。



クイズに正解して大喜び



みんなで真剣に考えます。



だいじょうぶ、できるよ。



わたしのジェスチャー伝わるかな？



くじらに見える？

西川小学校のブログもぜひごらんください。

